

至誠館大学

科目名	福祉行財政論			コード		
英語表記						
担当教員名	坂本 秀泰			年度	平成28年度	
基準年次	3年次	開講期	後期	単位数	2	
授業形態	講義	授業形式		履修形態	選択	
授業概要						
・福祉の行財政の実施体制(国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織および団体、専門職の役割を含む)について理解する。・福祉行財政の実際について理解する。・福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する。						
到達目標						
現代の社会福祉サービスは国が基本的な施策を決定するが、実施は市町村をベースとして、行政担当者と住民および事業者が参加して行うようになってきた。これに伴って、福祉専門職は現場実践における専門性のみならず、計画策定段階においても専門的視点からかかわることが求められるようになった。そこで本講義を通じて、福祉行財政、福祉計画の意義や目的等についての理解を到達目標と設定する。						
授業計画						
第1回	福祉行政の実施主体～戦後社会福祉行政の展開と公的責任の推移～					
第2回	福祉行政の実施主体～国と地方の役割・関係～					
第3回	社会福祉行政における国と地方の関係					
第4回	社会福祉行政の組織とその役割					
第5回	社会福祉行政における専門職とその役割					
第6回	まとめ～社会福祉行政の実施主体～					
第7回	社会福祉の財政					
第8回	社会福祉財政の動向と課題					
第9回	社会福祉行政と福祉計画					
第10回	まとめ～福祉行財政の仕組みと動向～					
第11回	自治体の福祉計画～福祉計画の種類と範囲～					
第12回	自治体の福祉計画～福祉改計画の意義と目的・住民参加～					
第13回	自治体の福祉計画～福祉計画の策定過程と方法・評価～					
第14回	自治体の福祉計画～福祉計画の実際～					
第15回	まとめ～自治体の福祉計画～					
評価方法と基準		評価項目と割合(%)				
受講態度、授業中の小レポート、期末試験、その他総合的評価		出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			30	20	40	10
授業外学習		テキスト、教材				
福祉行財政、福祉計画は一人ひとりの市民が大いに感心を持ち、主体的に参加することの必要性が問われる今日において、自らのモノとして考えることが求められていることを十分認識し、新聞やテレビのニュースや地域の福祉ニーズ、社会資源について日々気づいて、考えるようにして欲しい		『福祉行財政論』精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー編集委員会 編集 へるす出版				
参考書		受講生へのメッセージ				
随時紹介						
キーワード						